

#166 Subscription Concert

第166回 定期演奏会

オストロワオルド賞の系譜

朝鮮民謡の主題による変奏曲 / J.B.チャンス
Variations on a Korean Folk Song / John Barnes Chance

交響曲第1番 / J.バーンス
First Symphony / James Barnes

交響組曲 / C.ウィリアムズ
Symphonic Suite / Clifton Williams

シンフォニア / 周天
Sinfonia / Zhou Tian

9/28 2024 SAT 開演:18:30
(開場:17:45)

なかのZERO 大ホール

〒164-0001 東京都中野区中野2丁目9番7号 TEL:03-5340-5000(代表)

指揮 大井剛史 (常任指揮者) Takeshi Ooi, Conductor

演奏 東京佼成ウインドオーケストラ



©Ayane Shindo



©Atsushi Yokota

Tokyo Kosei Wind Orchestra

TICKET (全席指定・税込) 一般: ¥5,000 U25: ¥2,500

25歳以下の方のための割引サービスです。
公演当日は年齢を証明できるものをご持参ください。
取り扱い: TKWOチケットサービス なかのZEROチケットセンター

会員先行: 2024/6/3(月)
一般発売: 2024/6/10(月)

東京佼成ウインドオーケストラ チケットサービス

WEBチケットサービス

いつでも予約可能! ※定期メンテナンス
毎日3:00-4:00

座席指定

クレジット決済

電子チケット

コンビニでの支払・発券



TEL

03-5341-1164

9:30-16:30

土・日・祝を除く

プレイガイド

- チケットぴあ
- ローソンチケット
- e+ (イープラス)
- なかのZEROチケットセンター
03-3382-9990 (10:00-19:00)
<https://nicesacademia.jp/>

※本就学児のご入場はご遠慮ください。※出演者・曲目・時間等は変更になる場合がございます。※お申し込み後の変更・キャンセルはお受けできません。
※公演中止の場合を除き、払い戻しはいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

主催: 一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ

共催: なかのZERO指定管理者

後援: 一般社団法人全日本吹奏楽連盟、東京都吹奏楽連盟、公益社団法人日本吹奏楽指導者協会、
公益財団法人日本音楽教育文化振興会、一般社団法人日本管打・吹奏楽学会、
一般社団法人日本吹奏楽普及協会、日本コロムビア株式会社、株式会社テレビマンユニオン

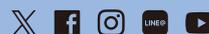
助成: 文化庁

文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

東京佼成ウインドオーケストラ事務局

TEL 03-5341-1155

<https://www.tkwo.jp/>



オストウオールド賞の系譜

中橋愛生 (TKWO 楽芸員)

世界で最も権威のある吹奏楽の作曲賞として知られているABAオストウオールド作曲賞。アメリカ吹奏楽指導者協会(ABA)とその中心人物であるゴールドマンは、1929年のABA創設当初から、優れた吹奏楽オリジナル作品の不足を問題視していた。新作の委嘱初演を重ねてきたABAとゴールドマンは、満を持してこの作曲賞を創設する。1956年に第一回が開催されて以来、実に60曲を超える作品がその榮譽を冠している。その受賞作の歴史は、そのまま吹奏楽の発展の歴史である。その受賞作から選りすぐった今回のプログラムからは、改めて吹奏楽の可能性を聞き取ることができよう。

過去の受賞作のなかでも、日本で特に愛奏されているのが1966年の受賞作「朝鮮民謡の主題による変奏曲」。チャンスのこの曲は吹奏楽の古典的名曲として親しまれているが、ABAオストウオールド賞の受賞作であったことは意外に知られていないかもしれない。今や押しも押されぬ大家となったバーンスが大学院修了作品として作ったのが「交響曲第一番」。これが1978年の受賞作となったことがバーンスの評価を確立させた。しかし、あまりにも鮮烈な曲調は当時の出版社に受け入れられず、バーンスは同作を封印、長らく幻の作品となっていた。それが改訂を経て蘇演されたのは昨年のこと。今回の改訂版全曲演奏はそれに次ぐ二度目となる。

「交響組曲」は1957年の第二回受賞作。第二回の受賞作も同じクリフ・ウィリアムズの「ファンファーレとアレグロ」だったが、2年連続の受賞である。創設間も無い賞を同一人物に続けて与えるのには抵抗もあったろうが、それでもなお受賞に値すると判断するに足る内容を持つ傑作である。ウィリアムズはチャンスの師であることから、アメリカにおける吹奏楽創作史の源流を感じさせる重要作だ。

今回演奏されるなかで直近の受賞作であるのが「シンフォニア」。1981年に中国で生まれて19歳でアメリカに移住、カーティス音楽院やジュリアード音楽院で学び、グラミー賞にノミネートされるなど注目を集める周天は、その出自もあつて様々な異なる文化が織り重なるような作風が特徴。2022年の受賞作「シンフォニア」もアメリカと中国、ジャズに鉄道が交錯するユニークな音楽。この2年ほどで一気に注目を集めている曲だが、全4楽章の全曲を聞ける機会は貴重だ。温故知新にして最先鋭。ABAオストウオールド賞の系譜は、未来の吹奏楽作品の可能性をも照らし出す。時代の歩みを肌で感じたい。

(敬称略)

PROFILE

大井 剛史 (常任指揮者)

Takeshi Ooi, Conductor



2024年4月、東京佼成ウインドオーケストラ常任指揮者に就任。17歳より指揮法を松尾葉子氏に師事。東京藝術大学指揮科を卒業後、同大学院指揮専攻修了。若杉弘、岩城宏之の各氏に指導を受ける。1996年安宅賞受賞。スイス、イタリア各地の夏期講習会においてレヴァイン、マズア、ジェルメッティ、カラブチェフスキーの各氏に指導を受ける。2007～2009年チェコ・フィルハーモニー管弦楽団で研修。2008年アントニオ・ベドロッチェ国際指揮者コンクールで第2位入賞。在学中より東京二期会、新国立劇場などのオペラ公演で副指揮者をつとめ、2002年「ペレアスとメリザンド」(ドビュッシー)を指揮してデビュー。その後はオペラのほかバレエ、ミュージカル、日本舞踊との共演など多くの舞台公演を指揮。仙台フィルハーモニー管弦楽団副指揮者(2000～2001)、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉(現・千葉交響楽団)常任指揮者(2009～2016)、山形交響楽団指揮者(2009～2013)、同正指揮者(2013～2017)、東京佼成ウインドオーケストラ正指揮者(2014～2024)を歴任。このほか全国の主要オーケストラを指揮している。レパートリーは極めて広く、オーソドックスな管弦楽/吹奏楽の作品を中心として、現代音楽の初演、ゲーム音楽、映画音楽、ポップスなどありとあらゆる音楽を手がける。トーク付きのコンサート、また子供のためのコンサートなどを通じて、より多くの方々に音楽に親しんでいただくことに情熱を注いでいる。東京藝術大学音楽学部器楽科非常勤講師(吹奏楽)、尚美ミュージックカレッジ専門学校客員教授。

東京佼成ウインドオーケストラ

Tokyo Kosei Wind Orchestra



1960年5月「佼成吹奏楽団」として発足し、その後1973年に「東京佼成ウインドオーケストラ」へ改称。2022年4月より「一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ」として活動する日本が世界に誇るプロ吹奏楽団。桂冠指揮者にフレデリック・フェネル、正指揮者に大井剛史、特別客演指揮者にトーマス・ザンデルリンク、首席客演指揮者に飯森範親、ポップス・ディレクターに藤野浩一を擁している。2024年4月より大井剛史が常任指揮者に就任予定。吹奏楽オリジナル作品、クラシック編曲作品やポップス、ポピュラーまで幅広いレパートリーの演奏を通し高い音楽芸術性を創出し、多くの人々が楽しめる管楽合奏を展開、各地のコンサートで好評を博している。また多くのレコーディング、メディアを通し、吹奏楽文化の向上・普及・発展に尽力している。

ACCESS



〒164-0001 東京都中野区中野2丁目9番7号
TEL:03-5340-5000(代表)

●JR・東京メトロ東西線 中野駅南口より徒歩8分

第3回

TKWO 吹奏楽カフェ

第166回定期演奏会の聴きどころや楽曲について、常任指揮者 大井剛史と楽芸員 中橋愛生によるトークセッションで解説いたします。

2024年 **8月28日** [水] 19:15開店
管楽器専門店ダク「スペースDo」
(最寄駅「新大久保」駅)

料金 **2,500**円(税込)

■共催：管楽器専門店ダク

詳細はこちら ▶

「TKWO吹奏楽カフェ」
特設ページ

